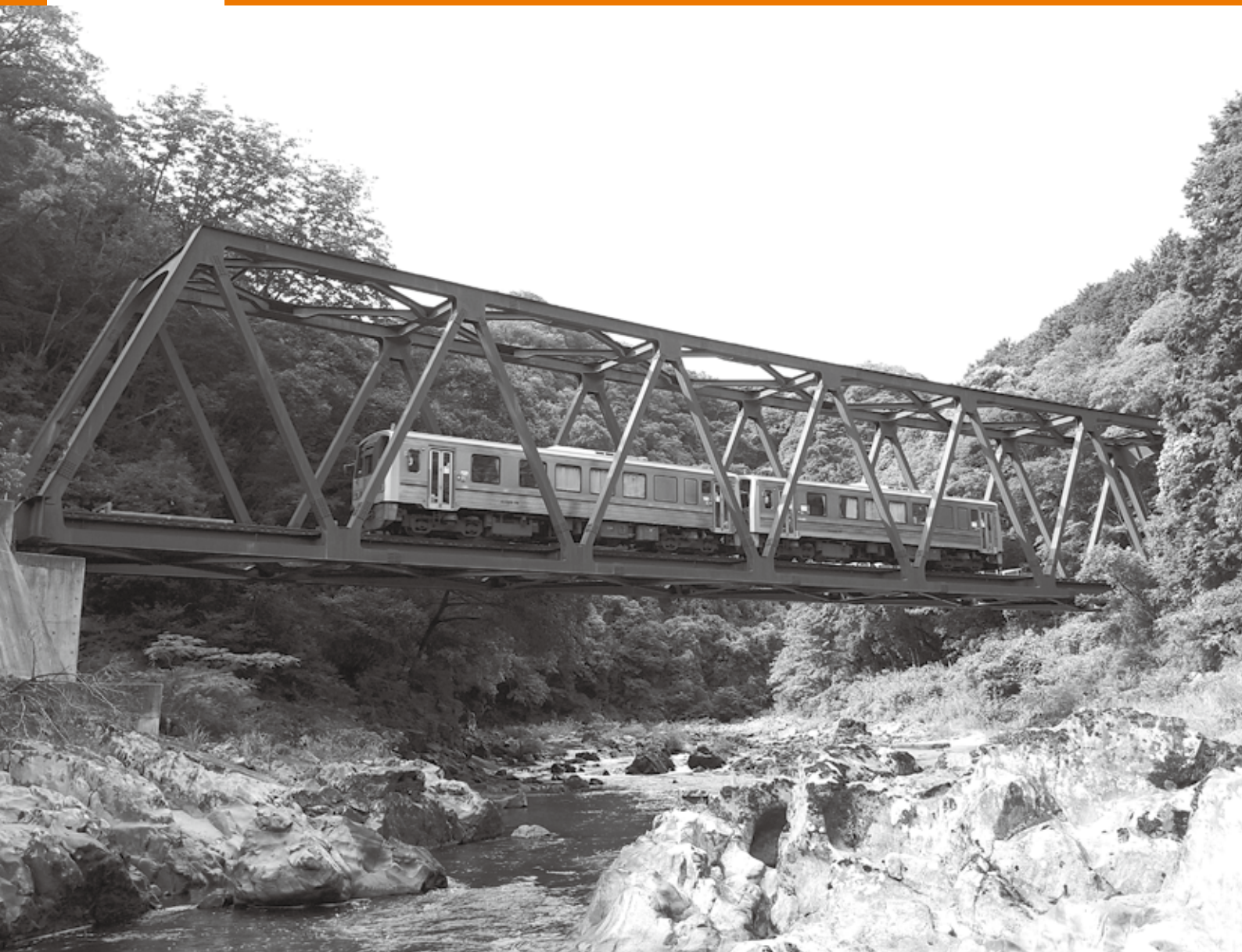


みね 議会だより

第 40 号 令和 3 年（2021 年）9 月 1 日発行



復旧 10 周年を迎える JR 美祢線

主な内容

- 審議内容報告 2 ～ 3
- 一般質問と答弁 4 ～ 14
- 自主研究グループを立ち上げました 15
- 9月定例会の日程・編集後記 16

令和3年第2回(4月)臨時会

会期 4月19日(1日間)

第2回臨時会は4月19日に開会し、令和3年度一般会計補正予算など、市長提出議案計6件について審議しました。

人事案件では、美祢市教育委員会委員の山本亜由美氏の任期満了に伴い同氏を再任、税務課長の人事異動に伴う固定資産評価員の選任に同意しました。

議案の審議結果については、以下をご覧ください。

■第2回臨時会議決結果

すべての議案を全会一致で可決・承認・同意

専決処分の承認(2件)

- 美祢市税条例等の一部改正
- 美祢市都市計画条例の一部改正

その他(2件)

- 美祢市教育委員会委員の任命
- 美祢市固定資産評価員の選任

補正予算(2件)

- 一般会計補正予算(第1号)
- 住宅資金貸付事業特別会計補正予算(第1号)

審議内容報告

○令和3年度美祢市一般会計補正予算(第1号)

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、生活支援を行う観点から、ひとり親世帯に児童1人当たり5万円の特別給付金を支給するための事業費

補正予算総額 1,312万6千円

令和3年第2回(6月)定例会

会期 6月9日～6月28日(20日間)

第2回定例会は6月9日に開会し、令和3年度一般会計補正予算や条例改正案など、市長提出議案計8件について審議しました。

議案の審議結果については、以下をご覧ください。

■第2回定例会議決結果

●は全会一致で可決、○は賛成多数で可決

条 例(2件)

- 美祢市税条例の一部改正
- 美祢市病院等事業使用料手数料条例の一部改正

- 水道事業会計補正予算(第1号)
- 一般会計補正予算(第3号)

その他(2件)

- 財産の取得(MYT 関連設備)
- 財産の取得(災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車)

補正予算(4件)

- 一般会計補正予算(第2号)
- 国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

審議内容報告

○令和3年度美祢市一般会計補正予算(第2号)

新型コロナウイルス感染症対策経費や本庁舎整備事業にかかる経費など、今後の業務を推進する上で緊急に必要な経費を追加するもの

補正予算総額 4億29万7千円

主な内容

キャッシュレス推進事業 (519万5千円)

窓口における現金収受の際の接触機会の低減を図るとともに、デジタル化推進の一環として実施。キャッシュレス決済対応レジスター及びカード読取機の購入経費

本庁舎整備事業 (3億736万3千円)

新本庁舎整備に係る総事業費25億1,764万円のうち、令和3年度分工事費(外構撤去工事・山留工事・杭工事ほか)

子育て世帯生活支援特別給付金給付事業 (2,301万7千円)

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、すでに給付済みのひとり親世帯(補正予算(第1号)参照)を除く低所得の子育て世帯に児童一人当たり5万円の特別給付金を支給するための事業費

新型コロナウイルスワクチン接種事業 (967万2千円)

新型コロナウイルスワクチン予防接種委託料の追加(時間外及び休日の接種に対する加算)

問 キャッシュレス決済の開始時期と決済の種類についてお伺いします。

答 10月頃から運用を開始したいと考えています。クレジットカード、電子マネー、QRコード決済等、幅広く対応したいと考えています。

問 本庁舎建設工事に係る経費が計上されていますが、庁舎等整備基金はどのように使っていく予定でしょうか。

答 令和4年度の事業の中で、本庁舎及び総合支所等、総合的に勘案し、財源として使っていくと考えています。

問 秋芳保健センターを改修し、子育て広場カンガルームを実施されるとのことですが、秋芳地域の開始時期等についてお伺いします。

答 8月からの開始に向けて準備を進めています。当面は、水曜日のみの実施を予定していますが、利用状況等を踏まえながら回数については検討していきたいと考えています。また、新秋芳総合支所建設後は、総合支所内で実施するよう進めています。

○美祢市病院等事業使用料手数料条例の一部改正について

国の介護保険の基準費用額の改定に伴い、介護老人保健施設グリーンヒル美祢に係る食費の改正を行うもの

問 今回の値上げの算定根拠についてお伺いします。

答 令和2年度の介護事業経営実態調査の結果から、介護保険施設の食費に係る平均的な費用との差額を踏まえ、利用者負担額の影響も勘案し改定したものです。



(みらい)
むら た ひろ し
村田 弘司 議員

1

本市の現状を踏まえ「みらい」を創る戦略的な取組について

問 新型コロナワクチン接種の現状について、接種を希望されるすべての方に対し、国の方針どおりに接種を完了できますか。また、本市は市内医療機関を中心とした個別接種で進んでいますが、今後集団接種も考えておられるか、お伺いします。

答 10月末までに、全ての希望される方に接種できるよう体制整備し、見込みを立てています。

集団接種につきましては、今後の推移を見て、関係機関との協議の中で検討していきます。

問 10月末までにワクチン接種を終える見込みの中に12歳以上の方も入っていますか。含まれる場合、中高生は学校での集団接種ではなく、個別接種で対応されますか。また、ご自宅で身動きができない等、いわゆるワクチン接種弱者の方に行政として配慮すべきと思いますが、対応をお伺いします。

答 中学生の集団接種の可否につきましては、学校医、医師会、保護者の意見等を聞きながら総合的に判断したいと思っています。また、移動手段がない方については、個別に社会福祉協議会や関係機関と連携し、対応してまいります。

問 本市の現状を考えると、人口問題は避けて通れません。昨年、5年ぶりに実施された国勢調査の速報値が発表されましたが、この5年間の人口減少率がマイナス11.1%と、県内13市の中で唯一10%を超える大幅な人口減となっています。

この現状について、どう認識し対応されようとしておられますか。

答 本市の最大の課題は、人口減少問題だと思います。特に25～39歳の人口減が著しく、その中でも女性にターゲットを絞って対策を打っていかなくてはならないと考えています。

問 地元に対する自信や誇りの有無は、人口減と相関関係があると思いますが、これを失う危惧すべきことがあります。

先日、JR西日本大阪本社の社長が記者会見され、「ローカル線廃線を視野に見直しを行っている。」と明言されました。このローカル線の中に、当然美祢線も含まれると思いますが、この認識と対応についてお伺いします。

答 美祢線は、何としてでも存続していかなければなりません。

先日、JR西日本広島支社長に様々な要望を行った際、支社長より、美祢線の存続は一踏ん張りだけでは厳しいとの指摘がありました。今後、関係自治体によるスクラム対応も必要と考えています。

問 厚保駅並びに於福駅交流ステーション事業で、沿線住民の方が美祢線利用促進、地域振興に向けて努力、協力されています。このような取組をJR西日本サイドも認識され、美祢線存続に大きな意味を持つと思いますが、いかがでしょうか。

答 交流ステーション事業や地元の取組は高い評価をいただいております。美祢線活性化に大きく貢献していただいております。

美祢駅の活用も含めて、市としてやるべきことに取り組んでいきます。

問 農業は本市の基幹であり、誇りでもあります。

農林水産省補助事業で設置された道の駅おふくの本来の目的の1つである農家所得向上のためにも、野菜市場の拡充や、さらには農産物加工による付加価値を得るための六次産業化支援施設の整備等はいかがのでしょうか。

答 農業政策と農村政策は表裏一体と考えますので、地域振興発展のために道の駅おふくをいかに活用するか検証し、前向きに取り組んでいきます。



(無所属)

たはら よしひろ
田原 義寛 議員

1 美祢市のジバス(たて穴)について

問 伊佐町の市道、農地のジバス(たて穴)の発生状況と、その対処についてお尋ねします。

答 伊佐町、伊佐地区での発生状況は、令和2年1月以降、宅地1か所、市道1か所、農地4か所の合計6か所で発生しています。

同地区において、令和3年3月から電磁波レーダー探査による地下空洞調査を実施したところ、陥没につながるような地下空洞は発見されませんでした。

市道については、道路パトロールや通行者の通報などにより、道路管理者である建設課が陥没を確認した場合は、早急に陥没影響範囲の舗装をはぎ取り、良質土を用いて入念に転圧を行い、道路の路盤及び舗装を復旧しています。

農地については、所有者や耕作者の方からの通報などにより農林課が陥没を確認した場合は、復旧工事に係る補助制度の適用の可否をお伝えし、農地の所有者や耕作者の方に復旧工事を自ら発注していただくことになります。

農地の陥没の復旧工事に係る補助制度は、復旧に要する工事費が10万円以上の場合に適用となります。補助率は50%で、申請の窓口は農林課です。

問 美祢市の農地、道路のジバス(たて穴)の発生件数と、防災アプリを活用した、市民によるジバス発生箇所の通報についてお尋ねします。

答 発生件数は、平成29年度から数えて、今回の伊佐地区も含めて19か所となります。

防災アプリの利用は、一定の基準や運用の仕組みづくりが必要となります。今後は、アプリ機能の対象範囲などを含め、より有効な活用がで

きるよう、検討したいと考えています。

2 デジタル化推進と市民行事の支援体制について

問 公共施設でのリモート会議が実施可能かお尋ねします。

答 各公共施設に設置したWi-Fi設備の活用方法について、地域の皆様からの相談に応じられる体制づくりに努めたいと考えています。

問 YouTube等を利用した、行事のライブ中継が可能かお尋ねします。

答 ネット配信による取組は、参加者の距離・時間・人数の制約を取り払うことが可能となる手法であり、安価で簡単に実現できるものです。

今後も有効な活用方法の調査・研究を引き続き行い、地域の皆様の活動の幅が少しでも広がるよう努めます。なお、本市では今年5月に開催した成人式の模様をYouTubeで配信しました。

問 行事企画者のデジタルを利用した支援についてお尋ねします。

答 リモート会議の活用はもちろんのこと、多くの関係者が柔軟にコミュニケーションが取れるビジネスチャットの導入が支援に有効と考えています。

3 美祢市の休日保育について

問 他市町の休日保育についてお尋ねします。

答 休日保育とは、日曜日や祝休日も保護者の就業状況等の都合により、家庭において保育が出来ない場合に利用できるものです。

県内の13市の状況では、現在、山陽小野田市及び本市は、休日保育を実施していません。

問 美祢市の休日保育実施についてお尋ねします。

答 美祢市において休日保育を実施する場合、どのような方法が望ましいのか十分精査しながら、子育て支援策として必要性も感じていることから、実施に向けた検討に入るところです。



(みらい)

藤井 敏通 議員

1

新型コロナワクチンの接種について

問 美祢市において、65歳以上の高齢者のワクチン接種については7月までに、12歳から64歳までの方については10月中旬に接種を完了するとの見込みです。

コロナ禍において、現時点で最も確実なコロナ対策として効果が期待できるのはワクチン接種です。そうであれば、一刻も早く全員にワクチンを接種することが最優先の課題です。集団接種（特に中高生は学校での集団接種）を実施することで、少しでも早く全員のワクチン接種ができると考えますが、集団接種の実施のお考えはありませんか。

答 新型コロナワクチンの接種については、個別接種を前提に、何よりも皆さんの安全・安心を優先すべきと考えます。

その上で、一刻も早いワクチン接種が望まれますので、中高生の集団接種については、学校医・美祢市医師会・美祢郡医師会・教育委員会とも十分な議論を重ねていきます。

2 デジタル化の推進について

問 行政のデジタル化推進については、国・県とも本気で取り組んでおり、美祢市においても、今年4月にデジタル推進部が創設されました。

デジタル化を推進することで、今後どのような行政を目指そうとされているかお尋ねします。

答 市民生活の利便性の向上、端的に言えば、市役所に行かない、書かせない、待たせないというような市民サービスのイメージで、行政のオンライン化やワンストップサービ

スの推進などです。

行政が持っているデータをオープンにし、それを市民の皆様に積極的に活用していただき、地域課題の解決につなげていくということが将来的にあるかと思います。

家に居ながらいろんな行政手続き等ができるようになり、デジタル化により空いた時間で、本当に人でないとできないことに力を入れることができるようになると思います。

問 デジタル推進部として、この2か月にどのようなことを実施され、今後どのようなことを実施していかれるおつもりですか。

答 デジタル推進部の役割は、いろいろな部署で個別にデジタル関連施策を実施していたものを整理統合し、庁内一丸となって推進できる体制を構築し、実際に推進することです。

4月に発足して以来、美祢市DX推進本部を立ち上げ、国の計画にのっとり、今年度中に本市のDX推進計画を策定する予定です。

※DXとは…進化したデジタル技術を浸透させることで、人々の生活をよりよいものへと変革するという概念。

問 デジタル化推進において、デジタル技術に精通し、デジタル化をリードすることができる人材の確保が必要ですが、どのようにお考えでしょうか。

答 総務省の地域情報化アドバイザー職に任命されている方に、本市のDX推進アドバイザーに就任していただくことにしています。

問 デジタル弱者への対応はどのようにお考えですか。

答 国においても、情報格差を解消するということが大きなテーマとなっています。

美祢市においても、利用される市民の皆様が様々なサービスを受けられる環境がなければ意味がありません。

今後、携帯電話通信事業者と連携してスマホ教室等の開催、地域に出向いてスマホアプリの普及、マイナンバーカードの普及等に取り組んでまいります。



(日本共産党)
やました やすのり
山下 安憲 議員

1

コロナ禍における子どもの教育と健康について

問 昨年度、市内小中学生に1人1台のタブレット端末が整備されましたが、現在、どのように使われていますか。

答 インターネットを介しての調べ学習を様々な学習場面で行ったり、授業のまとめや振り返りの学習、朝学での個別学習及び家庭での復習などに活用しています。

また、市内外の学校とオンライン交流活動や合同授業をしたり、発表資料を端末上で共有しながら発表し合う学習などにも活用しています。

問 実際、現場では利用状況に差がありますが、この点はいかがですか。

答 教育委員会事務局が研修の機会などを通じて、教職員のICTリテラシーやICTの活用スキルを向上させ、情報共有により、学校や学級における格差をなくしたいと考えています。

問 将来のIT人材の育成を踏まえた活動として、部活動でのプログラミング部やeスポーツ部を創設できませんか。

答 新規に部を創設するというのは大変困難な状況ですが、ICT教育が進んでいけば、学校の枠を超えたいろんな形のつながりの中で可能になるのではないかと考えています。

問 ICT教育における電磁波被ばくについての見解をお伺いします。

答 電磁波につきましては、WHOの基準をもとに、国の電波防護指針で、人体に有害な影響を及ぼさない基準値が示され、その範囲内で運用されていますが、今後はそれぞれの子どもの健康状況や特性に見合った対応を真剣に検討していきます。

問 美祢市独自に、安全性・創造性を持つて端末を使い倒していく展望はありますか。

答 児童生徒の安全・安心を十分に配慮するとともに、誰一人取り残すことのない個別最適な学びと協働的な学び、そして、好奇心や挑戦する力を育む、美祢市ならではの呼べる創造的な学びのために、ICTを積極的に活用した教育に取り組んでいきます。

問 公設塾の進捗状況についてお尋ねします。

答 9月から開校予定で準備を進め、塾名は「mineto(ミネト)」としました。月謝は1,500円で、旧消防庁舎を活用して開設したいと考えています。

カリキュラムは、子どもたちが自分で自分の学びをマネジメントできるようになり、それぞれが描く未来へ向かって挑戦する力を養うというものです。

9月開校に向けて、7月中旬に各中学校で生徒向けに説明会を実施、夏休み期間中に体験入塾と保護者説明会を実施する予定です。

問 公設塾への移動手段についてお尋ねします。

答 徒歩や自転車での通塾が困難な場合、公共交通機関を利用していただくことを考えています。

なお、通塾が困難なときは、オンラインでの受講を可能にしたいと考えています。

問 美祢市は、小中学生に対するPCR検査の予定がありますか。

答 小中学生は活動範囲が狭く限定的で、現在の市内の感染状況を鑑みても、感染リスクは他市に比べると高くないものと判断しています。必要があれば、今後PCR検査を実施していきたいと考えています。

問 1人1台タブレットで、病院と連携してオンライン診療等ができませんか。

答 コロナ禍における子どもたちの安全・安心を守るための方策を教育委員会として検討し、デジタル推進の流れにも期待しています。



(無所属)
な お の とも かず
猶野 智和 議員

1

岩永温泉「カルストの湯」の入浴時間について

問 施設の概要及び利用状況についてお尋ねします。

答 カルストの湯は、旧秋芳町において、高齢者及び地域住民の健康増進及びレクリエーションの場を確保し、市民の健康及び福祉の増進を図り、もって地域の活性化に資することを目的として整備され、平成15年4月にオープンした入浴施設です。

岩永温泉を源泉とし、泉質はアルカリ性単純硫黄冷鉱泉となっており、利用される市民の方々はもとより、市外の利用者からも好評をいただいています。

また、利用者は、例年約1万4千人程度で推移しています。

問 入浴時間の延長についてお尋ねします。

答 市内には入浴施設が3つあります。美祢地域には道の駅おふく、美東地域には秋吉台リフレッシュパーク内の景清洞トロン温泉、秋芳地域にはカルストの湯が運営されています。

各施設の入浴時間につきましては、道の駅おふく及び景清洞トロン温泉については21時まで、カルストの湯については19時30分となっています。

これらを全て同等の取扱いに変更することは困難ですが、市民の利便性の向上といった点を鑑み、入浴時間の延長に関して、今後、運営主体であるカルストの湯運営協議会にお諮りし、検討していきます。

2 育休中の保育事業について

問 育休中の保育園利用と延長保育についてお尋ねします。

答 待機児童を多く抱える自治体では、育児休業中は、上のお子さんが保育園等に通っている場合でも退園を求められることがあるのですが、本市の場合は通園を継続することが可能です。

また、延長料は発生しますが、延長保育も利用していただくことも可能です。

問 育休中の児童クラブ利用についてお尋ねします。

答 育児休業中は、両親どちらかが昼間家庭にいとみなされ、保護者が就労等により昼間家庭にいない者に該当しないため、児童クラブの利用はできません。

しかしながら、育児休業中におけるきょうだいの児童クラブの継続利用については、保護者の体調不良等、様々なご事情もあると思います。

今後、調査しながら前向きに検討していきます。

3 美祢高等学校の跡地利用について

問 美祢高等学校の跡地利用についてお尋ねします。

答 毎年11月に実施される山口県知事への県予算要望書で、敷地内の草刈り等の定期的な実施について要望しており、県からは適正な維持管理に努めるとの回答を得ました。

今後も県の動向を十分注視するとともに、適正な維持管理に関して求めています。



カルストの湯（秋芳町岩永）



(公明党)

おかやま
岡山たかし
隆 議員

1

河川の浚渫(しゅんせつ)による 浸水被害の防止対策に関して

問

市内には、長年にわたり堆積した土砂や葦・雑木などが繁茂している2級河川や準用河川が散見されます。

今後、ゲリラ豪雨や線状降水帯発生によって大きな被害をもたらす可能性があり、浸水被害を防止するための対策が喫緊の課題です。

浸水被害防止への河川浚渫の取組についてお伺いします。

答

市内には、県が所管する2級河川のほか、市建設課が所管する準用河川・普通河川、市農林課が所管する水路があります。

今年度からは、緊急浚渫事業債なども活用し、緊急かつ集中的に危険箇所の解消に力を注いでいきます。



伊佐町日の出町を流れる伊佐川

2

第二次美祢市教育基本計画の基本理念に基づく目標と課題に関して

問

第二次美祢市教育基本計画では、魅力と活力に満ちた学校を創っていくことが必要であり、そのためには望ましい教育環境の整備が急務となっています。

現在、本市の中学校では放課後におけるクラブ

活動の選択肢が限られ、やりたいクラブ活動がないため、校区外や私立の中学校に通学している生徒もいます。中学校におけるクラブ活動の取組と課題についてお伺いします。

答

学校単位ではクラブ活動の人数が不足するため大会に出場できない場合には、市内他校との合同チームとして出場できます。一方、これまでにない種目の合同チームを編成すること等を前提に新しく部活動をつくり、中学校体育連盟主催の大会に出場することは、現在認められていません。

県大会以上の大会にも出場できるよう、中学校体育連盟に規則の改正を提案していきたいと考えています。

3

人口減少や財政状況から見えてくる 市営住宅管理の取組に関して

問

本市の市営住宅保有実態は、現在の人口実態に即しておらず、市営住宅の管理・運営が滞っているという指摘もあります。

市営住宅の適切な管理運用について、お伺いします。

答

本市の市営住宅は、建設後相当の年数が経過した住宅が多数あり、維持管理が難しくなっています。

快適な住環境の実現のため、国の補助金を活用した住宅長寿命化のための改修や、民間事業者との協働により、市営住宅管理運用に努めます。

4

デジタル社会の構築における スマートフォン等の活用に関して

問

誰もが楽しくスマートフォンの活用ができる無料スマホ教室など、特に高齢者に対する講習会の開催について、お伺いします。

答

デジタル化が急速に進む中で、高齢者への支援が急務であると考えています。

市のほうから積極的に地域に出向き、スマホアプリやマイナンバーカードの普及に取り組みます。

まずは触れていただき、簡単・便利を実感していただくため、丁寧に説明していきます。



(無所属)

いし い かず ゆき
石井 和幸 議員

1 防災アプリの周知と活用について

問 防災アプリをどのように周知し活用していくのか、防災アプリの概要も含めて伺います。

答 防災アプリは、携帯端末を活用したシステムですが、今までの安全・安心メールとは異なり、配信された情報を文字だけではなく画像や音声で、屋内外問わず効果的に受信できるため、防災情報の伝達手段としては、非常に優れています。

今後、携帯電話通信事業者と連携したスマホ教室等の開催、地域に出向きスマホアプリの説明会、あるいは各種イベントにおけるインストール支援活動等を検討しています。

問 新型コロナウイルス感染症関連の情報発信について、防災アプリや安全・安心メールでの情報発信を考えておられますか。

答 新型コロナウイルス感染症関連の情報発信については、防災アプリの本来の目的を担保しつつ、その用途や効果を逸脱しない運用方法の調整が必要です。

しかしながら、市民の皆様には、できるだけ迅速かつ効果的に行政情報をお届けする必要があることから、今後、庁内で調整を進めていきたいと考えています。

問 今後の災害発生時の各団体との連携について、どのような考えをお持ちですか。

答 災害発生時には、市内外にかかわらず、関係機関及び関係団体と速やかな連絡体制をとれるようにしています。大まかには、国・県・警察・自衛隊・医療機関をはじめ、市内では民生委員・消防団などが挙げられます。

民生委員は、地域福祉課と連携しながら住民

への声かけ等、地域住民の福祉に係る役割を、消防団は、地域の防災組織として市消防本部と連携して、市民の避難誘導等の役割を担っています。

2 公共交通(路線バス及びジオタク)の利用について

問 美祢市においても、路線バスの利用者は年々減少しています。路線によっては、ほぼゼロのところもあるようですが、現在の路線バスの利用状況について伺います。

答 市内のみで運行している「あんもないと号」の令和2年利用者人数は3万7,349人、1日当たり102人となっています。

また、系統別の路線バスでは、1日当たり1人を割り込む系統もあります。

問 今後の路線バスの見直しや取組について、どのようにお考えですか。

答 美祢市地域公共交通網形成計画の次期計画策定に向け、ニーズ把握のためのアンケート調査を実施します。また、現行の路線バスの状況を整理・分析し、鉄道事業者・バス事業者・タクシー事業者等と調整を行った上で計画に反映することが必要と考えており、各種計画との整合性を図りながら策定することとしています。

問 今後のジオタク利用地域の拡大、夜間の利用・取組について伺います。

答 ジオタクは、デマンド型乗合タクシーであり、夜間の運行は行っていません。夜間の対応として、救急医療電話相談及び患者等搬送事業者について市民に周知しています。

利用地域の拡大については、地域内交通の実情を鑑みながら、各種調査を行った上で検討していくこととしています。



ジオタク利用の様子



(無所属)

おかむら
岡村たかし
隆 議員

1 案内表示等について

問 市内の案内表示には、「市章」を用いたものと、「Mine 秋吉台ジオパーク」のロゴマークを用いたものがありますが、2つの使用基準についてお伺いします。

答 現在、市境に設置してある圏域サイン、広域案内サインや誘導サインについては、平成22年3月に作成した美祢市サインシステム整備マニュアルに基づき設置しています。

Mine 秋吉台ジオパークのロゴマークについては、ジオパーク活動の取組みを市内外にPRするためにMine 秋吉台ジオパーク推進協議会が作成したものです。

市民の皆様、本市を訪れる皆様に対してわかりやすく、統一感のある案内表示の整備を図っていきたいと考えています。

2 景観の統一について

問 市役所及び総合支所の建て替えに際し、市役所周辺及び総合支所周辺における景観の統一についてお伺いします。

答 地域の特性を活かした景観の統一を検討し、費用対効果を踏まえ、既存施設の有効活用やリニューアルを判断していきます。

3 美祢駅周辺の再開発について

問 老朽化した美祢駅周辺の再開発についてお伺いします。

答 美祢駅周辺での店舗経営の持続や新規出店の可能性などを鑑みると、駐車場の確保が大変重要です。美祢駅西側に位置するボ

ケットパークの公園機能を活かした上での駐車スペースの確保や、都市計画道路駅前線への縦列駐車スペースの確保などを含め、関係法令等も確認しながら、駅前エリアの整備事業方針の中で検討していきます。

また、美祢駅前広場につきましても、現在の交通体系に即したレイアウトの見直しなどを行い、駐車スペースの増加も含め検討していきます。

4 美祢線の活用と利用促進について

問 美祢線の活用と利用促進についてお伺いします。

答 昨年12月、西日本旅客鉄道株式会社広島支社長に面会した際、「JR 美祢線の維持には、ひと踏ん張りだけでは厳しい、二、三倍やらないといけない。」という非常に厳しい言葉をいただいています。

本市だけでなく、地方鉄道沿線の自治体は、地方鉄道の廃止について非常に強い危機感を募らせており、県域を越えた自治体同士がスクラムを組んで取り組んでいく必要があると考えています。

美祢駅は、今年6月1日から無人化されており、定期券購入などの利便性においても代替策の検討を申し入れるとともに、市としても少しでも無人化の影響による不便を緩和できるよう努めます。

また、本年度は、JR 美祢線運転再開から10周年を迎える年となり、セレモニーを9月26日に開催するとともに各種の取り組みをする予定です。

美祢線がなくなって後悔するのではなく、少しでも早く活動し、協力していくことが大変重要であり、そのためにも、1人でも多くの方にJR 美祢線をご利用いただきたいと思います。



美祢駅周辺



(日本共産党)
みよし むつこ 議員

1

国民健康保険税の引き下げについて

問 コロナ禍における加入者の減収、失業等で保険資格を失ったり、不安定な非正規雇用が多くなったことなどによる対応はどのようにされていますか。

均等割(世帯人数分)と平等割(1世帯にかかる)が国保税の負担を重くしているのではないのでしょうか。

また、基準以上の基金7億5千万円があります。新型コロナウイルス感染症は指定感染症に指定され、流行する疫病対策という基金の必要性が薄れたと思います。

以上のことにより、国保税の引き下げをすることはできませんか。

答 減収による納税相談は対応しています。また、均等割と平等割の撤廃は困難と言わざるを得ませんが、均等割については、令和4年度から未就学児を対象に5割軽減する方針が示されており、全国知事会、全国市長会では、さらなる対象拡大の検討を求めています。

基金の活用については、県からの標準保険料率等の動向、激変緩和措置終了後の影響等に注視し、まずは、安定した健全な国保財政の運営に努めたいと考えています。

2

放課後児童健全育成事業(児童クラブ)について

問 事業形態・運営方法についてお尋ねします。

答 指定管理が1か所、認定こども園及び私立保育園に委託が3か所、児童クラブ支援員や保護者、地域の有志等で構成された運営協議会に委託が6か所、直営が4か所です。

問

委託先が保護者になっている場合、運営委員の負担を軽くするべきです。希望するクラブについて直営に移行できるかお尋ねします。

答

まずは、特定の保護者に負担がかからないように協議会の中で調整していただきたいと思います。

直営への移行については、ご要望があれば、今後検討をしていきたいと考えています。

問

児童クラブの利用料も保育料と同じように減免制度ができないかお尋ねします。

答

減免措置は、生活保護世帯や住民税非課税世帯は無料です。2人目以降の減免制度は、今後の検討材料とさせていただきます。

3

指定管理者制度について

問

市民のサービスを後退させないための取組が大切だと考えますが、どうでしょうか。

答

指定管理者制度を導入する際に検討すべき重要な項目として、市民のニーズに合ったサービス内容の充実や民間事業者のノウハウの活用が期待できるかどうかというものがあります。単にコストを下げるために制度を導入するのではなく、市民サービスの向上が図れると判断した場合に、制度を導入しています。

問

指定管理者制度の下で働く人は、指定管理者の変更のたびに、雇用契約の更新、待遇・労働条件等不安要素があるわけですが、市の指導についてお尋ねします。

答

指定管理者の選定に当たっては、労働法令の順守や雇用・労働条件への適切な配慮がなされているか否か、事業規模によっては社会保険労務士等の専門家も審査に加わっていただくなど十分審査し配慮しています。



児童クラブを利用する子どもたち



(純政会)

やま なか よし こ
山中 佳子 議員

1 機構改革の目的と効果について

問 今年度から美東・秋芳各総合支所において総合支所長が部長級から課長級に格下げされました。

その理由と過疎化の進む周辺地域の声をどのように反映させていくのかお尋ねします。

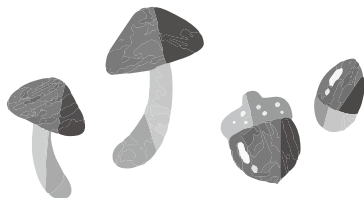
答 第三次行政改革大綱の改革項目に職員の定数管理を掲げています。これを進める中で、部局あるいは課の統廃合や部長級職員の課長職兼務等、管理職のポストを削減することで行政組織のスリム化を図りました。

しかし、組織間で綿密な連携、連絡体制を取ることによって、今後も美東・秋芳地域住民のニーズに応えるよう努めていきます。

問 美東・秋芳各教育事務所も今回の機構改革において廃止されています。教育事務所廃止に伴う影響と効果についてお尋ねします。

答 両事務所の廃止に当たり、両事務所が処理していた事務内容を精査し、教育委員会事務局の既存の5課で対応できる事務はそれぞれが引き継ぎます。また、市民の皆様へ直接影響を及ぼす各種手続きに関する事務は、利便性向上のため、事務処理マニュアルやチェックリストを再編し、地域の公民館で申請受付ができる体制を整えているところです。

具体的には、転入学や区域外就学、就学援助などの就学に関する業務は各公民館でも申請受付が可能となるなど、市民サービスの向上に努めます。



2 これからのまちづくりのあり方について

問 美東・秋芳各総合支所庁舎等の新施設の整備計画は、予定より1年7か月も遅れることとなりました。

秋芳地域のまちづくりのガイドライン、早急な計画作成等、活気を取り戻すための要望書が提出されていますが、どのようにお考えでしょうか。

答 各種計画を踏まえ、美東・秋芳各総合支所周辺にスポットを当て、具体的な土地利用や整備事業方針について、検討を進めてまいります。秋芳の方からいただいている要望書も併せて総合的に検討に入っています。

問 昨年行われた国勢調査の結果、美祢市は5年前と比較して11.1%の減少率でした。人口の減少を食い止めるためにどのような施策をお考えでしょうか。

答 令和2年度に第二次美祢市総合計画及び第2期美祢市まち・ひと・しごと創生総合戦略をスタートさせ、人口減少対策を進めています。

本年5月には多様で重層化した少子化の要因を分析し対策に取り組むために、庁内横断的な組織、少子化プロジェクトチームを立ち上げ、具体的な方策立案に向けて協議を開始しました。

また、市定住促進協議会において新たな婚活支援事業にも着手しています。

3 統廃合後の小学校の利活用について

問 秋芳町内の統廃合後の小学校の利活用についてお尋ねします。

答 旧嘉万小学校の解体については学校給食共同調理場が現在も稼働しており、解体に伴う異物混入等のリスクを回避するため、学校給食センター整備事業の完了後、令和7年度以降を予定しています。

旧本郷小学校の体育館は令和4年度なるべく早い時期の解体を考えています。

旧下郷小学校は利活用の要望がないことから市役所の書類保管場所として活用しています。



(純政会)
つばい やすお
坪井 康男 議員

1 市長の人事に関する考え方について

問 副市長・教育長の人事について、どのようなお考えなのかお伺いします。

答 行政の安定性、運営性は必要不可欠と思っています。

副市長、また教育長は、私の依頼した事項等について肅々と誠実に業務を遂行していただいております。今時点では交代等については考えていません。

問 デジタル化推進等の業務に対し専門的能力を持ち、即戦力となる職員の採用についてお伺いします。

答 デジタル化推進に関しては、総務省の認定を受けたアドバイザーの派遣、設置を予定しており、外部からの登用については、現在検討しています。

人事交流及び人材派遣については、市の重点施策を推進し、職員の政策形成能力等の向上を図る方針の下、国・県及び関係機関に対し今年度も継続的に実施し、国からは2名の職員派遣をいただいております。

また、今年度の新たな人事の取り組みとして、次の3点を実施しています。

1点目は、国の人材派遣制度を活用して、日本航空(株)、JALセールス(株)から各1名を派遣していただき、専門知識や業務経験を活かして、観光業務における課題解決に取り組んでいただいております。

2点目は、職員の育成に長期の期間が見込まれる分野において、高度の専門的な知見や優れた経験をもつ人材を採用しており、今年度は県の退職者2名を農林課に配置しています。

3点目は、みね健幸百寿プロジェクトの一環

として、職員を山口県立大学大学院に入学させ、保健・医療・福祉の分野に加え、デジタル化時代に対応可能な人材の育成に取り組んでいます。

2 市長の政治姿勢について

問 市長の政治姿勢についてお伺いします。

答 政務に関することなのでお答えできません。

3 道の駅おふくの決算書問題について

問 美祢市は、美祢観光開発(株)を道の駅おふくの指定管理者に指定し、指定管理料を支払っています。

美祢観光開発(株)は、受け取った指定管理料を年度によって異なる勘定科目に計上しています。

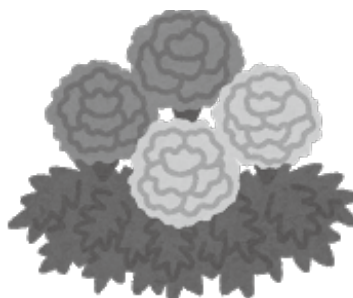
指定管理料は、売上高、営業外収益のいずれに計上するのが正しい会計処理ですか。

答 平成26年度までは、リスク分担として灯油代が基準価格を超えた場合に、その超過分を指定管理料としてスポット的に支払っており、これは年間を通じた役務の対価ではないので、営業外収益に計上しています。

平成27年度以降は、指定管理料は業務の対価であり委託料であることから、売上高に計上しています。

しかし、令和元年度については、当時の社長の「市からの当該委託料に依存しない経営体制を目指したい」という強い経営方針により、営業外収益に計上されたところです。

いずれにしても、令和元年度が継続性に反する異質な取り扱いをしたという判断をしています。



自主研究グループを立ち上げました

美祢市議会では、令和2年の改選以降、9回にわたり市政に関する勉強会を開催し、議員相互の資質向上と情報共有を図ってきたところです。

そして、令和3年6月、会派や政党にとらわれないメンバー構成で、7つの自主研究グループを立ち上げました。

この自主研究グループでは、市の財政運営や農業振興、まちづくりなど、市が抱える重要かつ喫緊の課題を調査・研究し、その結果を議会として取りまとめ、執行部に対し政策提言していきたいと考えています。

【主な調査・研究テーマ】

- 健全な財政運営
- 美祢市の未来農業の創造
(有機農法の展開、六次産業化の推進)
- 景観条例について
- 環境保全型農業
～有機農産物を美祢市のブランドへ～
- 農山村対策、施策の検討、
システムとしての市職員組織の運営方法
- 秋芳地域のまちづくりについて
- 農産物生産者支援と直売所、
ふるさと納税返礼品の推進



自主研究グループ開催の様子

議会まめ知識

1 議長と副議長

議長と副議長は、議員の中から1人ずつ選ばれます。

議長は議会を代表し、議会の中心となって議員の意見をまとめたり、話し合いを進めます。また、議会を代表していろいろな行事に出席したりします。

副議長は、議長が病気や出張などでいないときに議長の代わりをします。

2 本会議と委員会

議員全員が集まって話し合う会議を「本会議」といいます。

本会議では、提出された議案について市長から説明があります。

議会にはたくさんの議案が提出されますが、議案の内容は様々な分野にわたり、話し合わなければならない問題もたくさんあります。そのため、議案の内容によってグループ分けをして、くわしく話し合いをする会議を「委員会」といいます。

本会議において、委員会で話し合った内容を報告し、議案に賛成するかしないかを最終的に決定します。

李登輝（りとうき）元総統を偲ぶ会に参列しました



令和3年7月30日に李登輝元総統を偲ぶ会が開催され、竹岡昌治議長、美祢市議会日台友好促進議員連盟の村田弘司会長、岡山隆副会長、杉山武志幹事長の4名が参列しました。

李登輝元総統は現在の中華民国の礎を築き、また日台の親善関係に多大な貢献をされました。現在、本市と台湾との友好交流が進展しているのも、李登輝元総統のご活躍があったからこそ成し得たものです。

李登輝元総統が亡くなられてから1年、あらためてご功労に敬意を表すとともに、心からご冥福をお祈りいたします。



市民の皆さん、ぜひ傍聴にお越しください。

（9月7日（火）議会運営委員会において日程を決定します）

日 程	時 間	内 容（予 定）
9月14日（火）	10：00	本会議（初日）
9月15日（水）	10：00	本会議（一般質問）
9月16日（木）	10：00	本会議（一般質問）
9月17日（金）	10：00	本会議（一般質問予備日）
9月21日（火）	9：30	総務企業委員会
9月22日（水）	9：30	教育民生委員会
9月24日（金）	9：30	予算決算委員会
	予算決算委員会 終了後	新庁舎等建設特別委員会
9月29日（水）	10：00	本会議（最終日）※

※本会議最終日に、令和2年度一般会計・特別会計の決算議案が提出される予定です。この議案を審議するため、会期の延長を行う予定です。

編集後記

約1年半にも及ぶ新型コロナウイルスと私たちの戦いは、ワクチンの普及により、終焉への光がさしたかに思われます。しかし、この間失われた経済活動やイベント活動は計り知れないものとなっています。

私たち議員は、美祢市のために今何ができるのか、常に悩み、話し合い、知恵を出し合っています。このコロナ禍を終わらせ、市民の皆様心に心からの笑顔が再び溢れる日が来ますよう、議員一同全力で取り組んでまいります。（山下）

議会だより編集委員会

委員長	三好 睦子
副委員長	山中 佳子
委員	藤井 敏通
〃	岡村 隆
〃	田原 義寛
〃	山下 安憲
〃	石井 和幸